

総説・解説

1. 向坊 隆, 朝倉祝治 : 熔融塩電気素子, 熔融塩, **8**(4), 606-624 (1965).
2. 向坊 隆, 朝倉祝治 : 熔融塩電極反応の測定 熔融塩, **9**(3), 375-403 (1966).
3. 向坊 隆, 朝倉祝治 : 液体電気素子, 電気化学, **34**, 2-12 (1966).
4. 向坊 隆, 朝倉祝治 : 液体電気素子, 電気化学, **34**, 166-179 (1966).
5. 向坊 隆, 朝倉祝治 : 無機非水溶液と熔融塩を用いた電池, 熔融塩 **10**(1), 127 (1967).
6. 向坊 隆, 朝倉祝治 : LiCl-KCl 共熔融塩中における白金の不動態化機構, 熔融塩 **10**, 127-143 (1967).
7. 朝倉祝治 : アイソレーションとインタフェース, トランジスタ技術, **9**(4), 100 (1972).
8. 朝倉祝治 : 回路素子としての電池, トランジスタ技術, **9**(7), 190 (1972).
9. 朝倉祝治 : トランスジューサ入門, トランジスタ技術, **11**(6), 187; **11**(7), 194; **11**(8), 198; **11**(9), 192; **11**(10), 264; **11**(11), 197; **11**(12), 186; **12**(1), 195; **12**(2), 195; **12**(3), 189; **12**(5), 186; **12**(6), 188; **12**(7), 190; **12**(9), 189; **12**(10), 189; **12**(11), 190; **12**(12), 194; **13**(1), 172; **13**(2), 177; **13**(3), 179; **13**(4), 176; **13**(5), 179; **13**(7), 193 (1974)-(1976).
10. 朝倉祝治 : 地下埋設物腐食の新しい検知法(第 1 報), 石油と石油科学, **20**(6), 64-69 (1976).
11. 朝倉祝治 : 電気化学的変換素子, 化学工業, 1098-1103 (1977).
12. 朝倉祝治 : 地下埋設物腐食の新しい検知法(第 2 報), 石油と石油科学, **21**(3), 64-70 (1979).
13. 宮田芳典, 朝倉祝治 : 大気中の移流拡散現象, 防災システム, **1**(4), 26-2 (1978).
14. 朝倉祝治 : 長路チャンバーに関する基礎的研究, 日本自動車研究所研究報告, **59**(3), 65-70 (1979).
15. 三宅敏之, 朝倉祝治 : ノルウエーと北海油田, 石油と石油化学, **25**(5), 56-61 (1981).
16. 朝倉祝治, 三宅敏之 : レーガン政権に望まれる安全政策, 安全工学, **20**(3), 173-174 (1981).
17. 三宅敏之, 朝倉祝治 : 1980 年の米国における二大ホテル火災ーラスベガスとニューヨークのホテル火災ー, 防災システム, **4**(2), 18-22 (1981).
18. 朝倉祝治, 石橋喜孝 : 電気化学的方法による腐食状態の実時間計測技術, 金属表面技術, **32**(6), 280-290 (1981).
19. 朝倉祝治 : 腐食による機器の損傷とその対策, 高圧ガス, **18**(1), 13-24 (1981).
20. 朝倉祝治, 美田邦彦 : 腐食の電気化学的計測法, 日本金属学会会報, **21**(1), 3-10 (1982).

21. 三宅敏之, 朝倉祝治: 青森県内における埋設からのガス漏れ調査, 防災システム, **5**(10), 9-14 (1982).
22. 朝倉祝治: 溶融塩を反応媒体とする工業化学プロセスと安全工学的優位性, 安全工学, **21**(3), 130-139 (1982).
23. 三宅敏之, 朝倉祝治: カナダ沖リグの転覆事故, 防災システム, **5**(4), 26-28 (1982).
24. 三宅敏之, 朝倉祝治: LP ガス漏れ事故の調査報告, 防災システム, **6**(1), 24-27 (1983).
25. 朝倉祝治: センサについての考察と最近の動向, 安全工学, **22**(4), 188-196 (1983).
26. S. Asakura, K. Endo: Square Wave Current Method for Monitoring Corrosion, New Materials & New Processes, **2**, 446-451 (1983).
27. 朝倉祝治: 化学反応速度の温度依存性に対する我々の感性は正しいか, 安全工学, **23**(2), 112-113 (1984).
28. 朝倉祝治: 1990 年にはどう展開しているか?, 自動化技術, **16**(4), 162-163 (1984).
29. 橘川重郎, 朝倉祝治: 化学センサの現状と将来ー化学センサに関する報告書よりー, 防災システム, **7**(2), 3- (1984).
30. 朝倉祝治, 中津川 勲: 高圧ガス保安に関する情報紹介 No. 90 腐食・防食の保安技術「腐食・防食の基礎」(4.1 腐食試験法, 5. 金属の腐食事例とその解析を執筆担当) 高圧ガス保安協会(1984).
31. 朝倉祝治, 中津川 勲: 腐食電位・分極コンダクタンス軌跡による腐食様態の追跡 (I), 防錆管理, **28**(7), 204-208 (1984).
32. 朝倉祝治, 中津川 勲: 腐食電位・分極コンダクタンス軌跡による腐食様態の追跡 (II), 防錆管理, **28**(8), 244-249 (1984).
33. 朝倉祝治: 塔槽類における腐食損傷のオンライン予測システム, 計装, **28**(6), 41-48 (1985).
34. 朝倉祝治: 腐食の仕組みと対策, 金属, **55**(6), 14-21 (1985).
35. 朝倉祝治: 腐食危険と対策概説, 安全工学, **24**(6), 300-308 (1985).
36. D. L. Piron, 朝倉祝治: カナダにおける腐食問題, 安全工学, **24** (6), 364-367 (1985).
37. 朝倉祝治: 埋設管の安全対策, 石油プロパン新聞社, (1256), 97-112 (1985).
38. 朝倉祝治: センサアプローチ, センサ技術, **5**(5), 49: **5**(7), 49: **5**(8), 49: **5**(9), 60: **5**(11), 98 (1985).
39. 朝倉祝治, 中津川 勲, 遠藤一彦: 矩形波電流分極法による腐食速度自動計測システムの開発, 防食技術, **34**(8), 469-471 (1985).
40. 朝倉祝治, 中津川 勲, 宮田義一: 腐食のメカニズムとその対策 (第1回~第33回), 管路情報, **1**(3), 26-31: **2**(4), 22-27: **2**(5), 34-37: **2**(6), 35-40: **2**(7), 41-46: **3**(8), 42-46: **3**(9), 62-64: **3**(10), 59-63: **3**(11), 64-66: **3**(12), 57-61: **3**(13), 60-63: **4**(14),

- 46-50: 4(15), 60-63: 4(16), 61-65: 4(17), 62-73: 4(18), 59-65: 4(19), 63-68: 5(21), 59-65: 5(23), 58-60: 5(24), 55-60: 5(25), 64-68: 6(27), 70-73: 6(28), 58-62: 6(30), 66-71: 6(31), 69-72: 7(32), 61-64: 7(33), 54-55: 7(34) 56-64: 7(35), 52-59: 7(36), 57-65: 7(37), 53-57: 8(38), 48-51: 8(39), 46-53 (1985)-(1992).
41. 朝倉祝治, D. L. Piron : 腐食の原理ーアノードトカソードの働きー, 金属, **56**(8), 12-17 (1986).
 42. 朝倉祝治 : 安全保持と異常検出用センサ技術, 機械の研究, **38**(1), 229-235 (1986).
 43. 朝倉祝治 : 保全技術に関するリカレント教育の試み, 圧力技術, **25**(5), 231-251 (1997).
 44. 朝倉祝治 : 設備診断と異常検出技術の現状と将来, 計測技術, (4), 35 (1987).
 45. 朝倉祝治 : 腐食計測概学, 工業用水, (353), 10-17 (1988).
 46. 朝倉祝治 : 実用金属の腐食と災害 (前) 一事故例と対策一, 防災システム, **11**(5), 3-8 (1988).
 47. 朝倉祝治, 中津川 勲 : 配管の腐食機構とその検出法 (I), 工業用水, **353**, 10-21 (1988).
 48. 朝倉祝治, 石原顕光 : 安全の源流を探る, JETI, **36**, 30-33 (1988).
 49. 朝倉祝治 : 実用金属の腐食と災害 (後) 一事故例と対策一, 防災システム, **12**(1) 3-7 (1989).
 50. 朝倉祝治 : 体系的に見た腐食危険と対策, 化学工業, **40**, 310-326 (1989).
 51. 朝倉祝治 : リカレント教育による人材育成・21世紀を支える教育方法とその源流 (上), 人材教育, **9**, 10-15 (1989).
 52. 朝倉祝治 : リカレント教育による人材育成・21世紀を支える教育方法とその源流 (中), 人材教育, **10**, 55-62 (1989).
 53. 朝倉祝治 : リカレント教育による人材育成・21世紀を支える教育方法とその源流 (下), 人材教育, **11**, 57-63 (1989).
 54. 朝倉祝治 : 下水道施設の金属設備の腐食劣化防止対策解説, 下水道, **14**(2), 22-29 (1991).
 55. 朝倉祝治 : ある誓願, かながわの生涯学習, 5-9 (1992).
 56. 朝倉祝治, 宮田義一 : 電気化学的手法を中心とした土壌腐食計測(その1), 材料と環境, **46**(9), 541-551 (1997).
 57. 朝倉祝治, 宮田義一 : 電気化学的手法を中心とした土壌腐食計測(その2), 材料と環境, **46**(10), 610-619 (1997).
 58. 朝倉祝治 : 環境科学を通しての教育, 工業教育資料, **259**, 1-4 (1998).
 59. 朝倉祝治 : 腐食モニタリング・腐食計測技術の現状と課題, プラントエンジニアリング, (12), 10-16 (1999).
 60. 朝倉祝治, 藏屋英介, 東海林裕一, 永山賢一, 古舘雄一 : 溶融塩を用いた有害有機ハ

ロゲン化合物の処理技術, 化学装置, (2)別冊, 54-57 (2000).

61. 朝倉祝治: 熔融塩による有害有機物質の分解処理, 金属, **70**(5), 349-356 (2000).
62. 朝倉祝治, 吉岡律夫, 東海林裕一, 古舘雄一: 熔融塩による有機化学物質の無害化処理技術, OHM, **88**(8), 78-81 (2001).
63. 朝倉祝治, 岡崎慎司, 中川英元: 白金担持酸化タングステンによるライン型センサの可能性, マテリアルステージ, **2**(10), 87-91 (2003).
64. 朝倉祝治: 熔融塩廃棄物処理, 熔融塩および高温化学, **47**(1), 26-34 (2004).
65. 朝倉祝治: 材料の劣化と予知保全技術, セイフティダイジェスト, **50**(5), 10-16 (2004).
66. 朝倉祝治: 防食技術の疑問に答える (I) - 錆びない金属をさがして! -, セイフティダイジェスト, **50**(9), 9-20 (2004).
67. 朝倉祝治: 防食技術の疑問に答える (II) - 考えずに使える防食マニュアルはできるか -, セイフティダイジェスト, **50**(10), 20-23 (2004).
68. 朝倉祝治: 「大学の知識」を活かそう! - 大学がもつ技術 - 「リフォームに役立つ防食技術 I」, 月刊リフォーム, (12), 77-83 (2004).
69. 朝倉祝治, 稲木倫道, 永井崇昭: 亜鉛および黒鉛粉末を混合したセメントを用いた鋼の防食, 工業材料, **53**(2), 51-55 (2005).
70. 朝倉祝治: リフォームに役立つ防食技術 II - すぐに役立つ技術の種は身近に・原理原則に潜む知恵 -, 月刊リフォーム, (2), 83-87 (2005).
71. 朝倉祝治: リフォームに役立つ防食技術 III - 活用したい電気防食・原理がわかれば容易に活用できる -, 月刊リフォーム, (4), 74-77 (2005).
72. 朝倉祝治: 流水でも利用できるカソード防食技術・更生工法としての電気防食, 配管技術, **48**(9), 14-18 (2006).
73. 朝倉祝治: 大学の上手な利用法, 防災システム, **29**(1), 14-16 (2006).
74. 朝倉祝治: セーフティと神話・宗教・芸術, セイフティダイジェスト, Vol.52, No.6, pp1-2 (2006)
75. 朝倉祝治: Safety と神話、宗教、安全、防災システム、31(1), pp.2-7 (2008)
76. 朝倉祝治: 異種金属管の接合 (I)、きゅうすい工事、Vol.9(2), pp15-18 (2008)
77. 朝倉祝治: 異種金属管の接合 (II)、きゅうすい工事、Vol.10(1), pp26-31 (2009)
78. 朝倉祝治: 異種金属管の接合 (III)、きゅうすい工事、Vol.10(2), pp12-16 (2009)